

1号機と7号機で安全評価（ストレステスト）を開始しました

福島第一原子力発電所における事故発生以来、地域の皆さまに大変なご心配とご迷惑をお掛けしておりますことに、改めて心よりお詫び申し上げます。

柏崎刈羽原子力発電所では、定期検査中の1号機と7号機でストレステストを開始しました。

ストレステストとは？

設計時の想定を超える地震や津波（発電所にとってのストレス）に対して、

「設備の安全性にどの位の余裕があるか」
「ストレスの度合いが大きくなるとある大きさを境に事象の進展が大きく変わることはないか」

を評価します。



検討会議（9月9日）

進め方

- 一次評価
定期検査中で起動準備が整った原子力発電所について安全上重要な機器等が地震・津波などにどの程度の余裕があるか評価します。
- 二次評価
すべての原子力発電所で総合的な安全評価をします。
- ◆柏崎刈羽原子力発電所では、定期検査中の1号機と7号機で一次評価を実施しています。

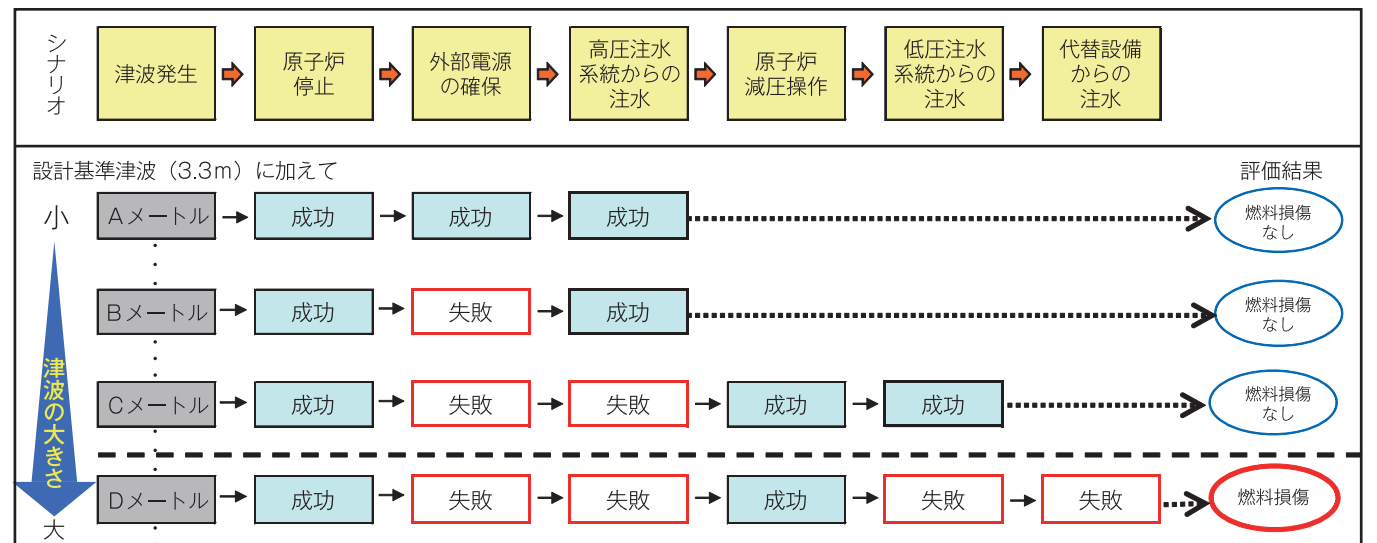


高圧注水系ポンプ

評価のイメージ

- ◆柏崎刈羽原子力発電所では、新潟県中越沖地震後に耐震強化工事を、東北地方太平洋沖地震後に津波への緊急安全対策として電源車の配備などを実施しています。
- ◆これらを踏まえ、例えば発電所が受ける津波の高さを変えて設計基準津波（3.3m）よりどのくらい大きくなると安全上重要な機器等が動かなくなり、燃料の損傷に至るかを評価します。（右図参照）
- ◆約1,000個の機器等を対象に、地震と津波それぞれで約60のパターンを評価します。

津波の評価の例



この例では、設計基準津波(3.3m)に対しさらにCメートルの余裕があると評価されます。



新たに配備した電源車

スケジュール

- ◆7月22日の国からの指示により準備を進めてきましたが9月9日より評価を開始しました。
- ◆評価結果はまとまり次第、国に報告するとともに地域の皆様へお知らせしてまいります。